

製品安全データシート

会社情報

会社名	: 株式会社丸山製作所
問合せ先	
会社名	: マルヤマエクセル株式会社
部署名	: 防災事業部 防災企画課
電話	: 03-5600-9821
FAX	: 03-5600-9818

1. 製品

製品名	: 化学泡消火薬剤 外筒用(A剤); 7 kg(F-100)
型式番号	: 第M-86号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2B
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分1(胃破裂)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	: 区分外
水生環境慢性有害性	: 区分外

記載がないものは、分類できないか、分類対象外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 軽度の皮膚刺激. 眼刺激. 臓器の障害(胃破裂)
注意書き	: 【安全対策】 必要に応じて個人用保護具を使用すること. 取扱い後は良く手を洗うこと. 【救急措置】 「4. 応急措置」を参照 【保管】 「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照 【廃棄】 「13. 廃棄上の注意」を参照

3. 組成及び製品情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分名	含有量(%)	化審法番号	安衛法	CAS 番号
炭酸水素ナトリウム	85	(1)-164	公表	144-55-8
泡安定剤	14	あり	公表	あり
サリチル酸	1.0	(3)-1640	公表	69-72-7

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を大量の水で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な大量の水で 15 分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は不燃性である。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したのなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 回収、中和 (廃棄などの封じ込め浄化の方法・機材) : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の措置

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付れたり, 粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する. 酸と反応すると二酸化炭素が発生するので注意する.

保管

適切な保管条件 : 冷暗所に保管する.
安全な容器包装材料 : 製品容器, 該当する消火器

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は, 局所換気装置を設置する.

管理濃度 : 設定されていない.

許容濃度 日本産業衛生学会(2009) : 設定されていない.

ACGIH(2009) : 設定されていない.

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防塵マスクを着用する.

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 淡黄色粉末

臭い : 無臭

pH : 8. 1

融点 : 分解(270°C)

沸点 : 分解

引火点 : 引火点なし

密度 : 2g/cm³

溶解度 : 水; 10%(20°C), 有機溶剤; エタノールに不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である.

反応性 : 酸と反応して二酸化炭素を生成する.

避けるべき条件 : 日光, 酸

混触危険物質 : 酸

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口:区分外 経皮:データ不足のため分類できない 吸入(蒸気):データ不足のため分類できない 吸入(粉塵・ミスト):区分4 多量に経口摂取すると、悪心などを起こし胃内で中和により発生する二酸化炭素は胃粘膜を刺激して二次的に胃液の分泌を促す。大量に吸収されると血液の酸塩基平衡を乱し、アルカローシスを招く恐れがある。 ラット 経口 LC50=7535mg/kg ラット 吸入(粉塵・ミスト) LC50=4.51mg/L/4hr
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚に対して軽度の刺激性がある(区分3)
目に対する重篤な損傷・刺激性	: 眼に対して強い刺激性がある(区分2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発ガン性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: 胃破裂の障害(区分1) ヒトの経口摂取後、ガスの過剰発生により急性的に胃破裂を起こし、入院に至ったケースが複数報告されている。
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: 水生毒性(急性):区分外 水生毒性(慢性):区分外
甲殻類	: データなし
残留性／分解性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 20Lポリ缶に入れ、日本消火器工業会が定める特定窓口へ引き渡すか、水に溶かして酸で中和した後、多量の水と共に下水に流す。中和時に二酸化炭素が発生するので注意する。 または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
-------	---

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 : 非該当
国際規制 : 非該当
輸送時の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転落、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR 法) : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
水質汚濁防止法 : 法第二条第二項第一号に該当しない。排出濃度により、水素イオン濃度の規制を受ける。

16. その他の情報

引用文献 : JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート(MSDS)／日本規格協会
化学物質法規制便覧／化学工業日報社
GHS 分類結果データベース／製品評価技術基盤機構ホームページ
理化学辞典(第4版)／岩波書店
弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

製品安全データシート**会社情報**

会社名 : 株式会社丸山製作所

問合せ先

会社名 : マルヤマエクセル株式会社

部署名 : 防災事業部 防災企画課

電話 : 03-5600-9821

FAX : 03-5600-9818

1. 製品

製品名 : 化学泡消火薬剤 内筒用(B剤);7 kg(F-100)

型式番号 : 第M-86号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外

自然発火性固体 : 区分外

自己発熱性物質及び混合物 : 区分外

水反応可燃性/禁水性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分3

水生環境慢性有害性 : 区分3

記載がないものは、分類できないか、分類対象外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼への刺激。水生生物に有害。長期的影響による水生生物に有害。

- 注意書き : 【安全対策】 環境への放出を避ける。適切な保護手袋, 保護眼鏡, 保護衣, 保護面, 保護マスク等を使用すること。取扱い後は良く手を洗うこと。
- 【救急措置】 「4. 応急措置」を参照
- 【保管】 「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照
- 【廃棄】 「13. 廃棄上の注意」を参照

3. 組成及び製品情報

単一製品・混合物の区分 : 単一製品

成分名	含有量(%)	化審法番号	安衛法	CAS 番号
硫酸アルミニウム	100	(1)-25	公表	10043-01-3

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を大量の水で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な大量の水で 15 分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置をうける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は不燃性である。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入したりしないようにする。風上から作業を行い、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起さないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収, 中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した
(廃棄などの封じ込め浄化の方法・機材) 場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の措置

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付いたり, 粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 : 製品容器, 該当する消火器

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は, 局所排気装置を設置する。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会(2009) : 設定されていない。

ACGIH(2009) : 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具 : 防じんマスク。

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 白色結晶性粉末

臭い : 無臭

pH : 2.5~4.0(2%水溶液)

融点 : 分解(86.5°C)

沸点 : 分解

引火点 : 引火点なし

引火又は爆発限界 : 上限;データなし, 下限;データなし

密度 : 1.6g/cm³

溶解度 : 水;37.5%(20°C), 有機溶剤;エタノールに不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

反応性 : 加熱すると分解する。

避けるべき条件 : 日光, 熱

危険有害な分解生成物 : 硫酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口:区分外 経皮:データ不足のため分類できない 吸入(蒸気):データ不足のため分類できない 吸入(粉塵・ミスト):データ不足のため分類できない 粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される ラット 経口 LD50>9g/kg マウス 経口 LD50>9g/kg
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外
目に対する重篤な損傷・刺激性	: 眼に対して強い刺激性がある(区分 2A) ウサギの眼に対して中程度の刺激性がある
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性:データ不足のため分類できない 皮膚感作性:データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発ガン性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: 水生毒性(急性) 水生生物に有害 水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に有害(区分3)
甲殻類	: ミジンコ EC50=12.8mg/L/48hr
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物(沈殿法)	: 20Lポリ缶に入れ、日本消火器工業会が定める特定窓口へ引き渡すか、水に溶かし、水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどのアルカリを加えて沈殿を生成させ、沈殿はろ過して埋め立て処分する。上澄み液はpHを中和に調整した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託処理する。 (備考)中和時のpHは8.5以上とする。これ以下では沈殿が完全には生成しない。
------------	---

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 : 非該当
国際規制 : 非該当
輸送時の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転落、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 施行令第十八条の二 名称等を通知すべき危険物及び有害物 アルミニウム水溶性塩(政令番号 37)
水質汚濁防止法 : 法第二条第二項第一号に該当しない。排出濃度により、水素イオン濃度の規制を受ける。

16. その他の情報

引用文献 : JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート(MSDS)／日本規格協会
化学物質法規制便覧／化学工業日報社
GHS 分類結果データベース／製品評価技術基盤機構ホームページ
理化学辞典(第4版)／岩波書店
弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

* 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。